令和４年度　まめなかね川柳　受賞者発表

市の特定健診・がん検診等を身近に感じ、雲南市健康都市宣言を普及することを目的に「まめなかね川柳」を募集したところ、７８作品の応募がありました。幅広い年代の方から、たくさんのご応募をいただきありがとうございました。応募作品の中から健康づくり推進協議会において厳正な審査を行い、入賞作品を決定しましたので発表にあわせ紹介します。

令和４年度川柳テーマ：こころ・休養

【優秀賞】（３作品）

どっこいしょ　たまにゃ休んで　気も楽に

木次町　宇都宮（うつのみや）　房子（ふさこ）さん（７０歳）

選考理由

・どっこいしょの言葉に親しみを感じる。

・リズムが良いと思う。

受賞者の皆さんのコメント

頑張りすぎたり、完璧ばかりを求めてしまうと心も体も疲弊してしまいます。心に余裕を持ちながら生活すれば、自分も周りの人も大切にすることができます。頑張りすぎている人に、この川柳のように声をかけてあげたい。

ブラボーに　元気をもらい　笑みこぼれ

三刀屋町　加納（かのう）　由美子（ゆみこ）さん（６７歳）

選考理由

・日本中が沸いたサッカー試合を思い起こす。

・聞くだけで元気が出るような川柳になっている。

長引くコロナや色々暗いニュースが多い中、サッカーをよく知らない私でも元気をもらえたのが、ワールドカップでした。心も体も「まめ」にしてくれる、笑いをこれからも心掛けたいと思います。

コロナ禍も　思い伝える　「まねなかね？」

木次町　山根（やまね）　祐子（さちこ）さん（５７歳）

選考理由

・特に気持ちが温かくなるようだった。

・気配りが感じられる川柳。

コロナ禍で人との交流が減った中でも、「まめなかね？」と声をかけることで、「あたなたのことを気にかけているよ」という思いを伝えられたのではないかと思う。「まめなかね？」の言葉は人と人をつなぐ素敵な言葉だと思う。

【入賞】（１２作品）

どげしよう　悩んどらんで　話してね

せわないよ　見かけた時は　声かけて

迷ったら　話せる人に　打ち開けて

どげしたの　かけられた声　光さす

大丈夫　人に話すと　気が晴れる

そこにいて　そばにいるだけ　それでいい

休日は　私の時間と　宣言す

睡眠は　心と体の　ビタミンだ

えだねかね　ふとはふとだし　おらはおら

そらそげだ　やすんがえわね　おちらとね

そぎゃんこと　気にしなはぁな　おらもだわ

たわいない　会話は楽し　こころ晴れ

たくさんのご応募をいただきありがとうございました
　なお、優秀・入賞作品については、市の健康づくり活動の普及に活用させていただきます。

雲南市役所　健康福祉部　保健医療介護連携室